

播磨ゆめづくり塾 一  
覧

	塾名	代表者	内容	活動期間	年数
1	夢紡塾(むぼうじゅく)	脇 清	作品製作と文化交流 陶板彫刻画を制作し、作品を町の施設等に設置して文化の香るまちづくり	H10～H13	4
2	いいかん塾	井上 秀子	5つの良いかん(感、関、寛、環、歓)を高めることで、人を豊かにして、その人が豊かなまちをつくる 季節を感じる、生活を愉しむ、くつろぐ、交流の広がり 押し花、リサイクル、紙漉き、コンサートなど	H10～H12	3
3	生涯スポーツでまちづくり塾	藤原 剛	生涯スポーツによって、健康と笑顔のまちづくり (現状調査、施設見学、体験、研修) 地域スポーツクラブ構想	H10～H12	3
4	ふるさとブラリ探訪塾	浜川 道雄	これからの播磨町を考えるため、ゆっくりとまちのあちこちを探訪して町の施設見学、工場見学、人物訪問などを行う	H10～H11	2
5	わくわく人権塾	塚崎 猛 大路 みどり 加田平 靖子	「人権感覚豊かなまちづくり」「現代社会における人権問題について フィルムフォーラムの開催 播同協研究大会での人権朗読劇	H12～H16	5

播磨ゆめづくり塾 一  
覧

	塾名	代表者	内容	活動期間	年数
6	ふれあいってなあに塾	下垣 俊子	ふれあいによるまちづくりをテーマに ・高校生など若者との交流 ・おやつづくりを通じた若い母親支援 ・町行事への積極的な参加、支援	H13～H15	3
7	あいであ未来塾	長尾 禎則 楠瀬 達雄	「一軒に一件の知的所有権獲得を目指す。 思いつき、ひらめきをアイデアとして「知的所有権」「商標登録」「実用新案」「意匠登録」をもつ	H13～H14	2
8	キャストはりま塾	福原 隆泰 吉本 榮策	住民の参画と行政との協働によるまちづくりの実践活動として、 花で彩るまちづくり 地域資源の豊かな水辺を生かしたまちづくり 地域通貨に関する研究調査	H14～H18	5
9	ベストパートナー塾	前田 一男	男女共同参画社会の実現を目指すための推進活動(PR)と メンバー自身の自己啓発(勉強) 「手に手をとって考えよう。男女がともに息づくまち播磨町」	H14～H15	2

播磨ゆめづくり塾 一  
覧

	塾名	代表者	内容	活動期間	年数
10	食文化「スローフード」元帰塾 3世代を紡ぐ元帰塾(H16) 世代を超えて元帰塾(H17)	長尾 禎則	「3世代を通して古き良き日本文化を見直す」をテーマに 歌い継いで欲しい歌のコンサート 作り継いで欲しい竹とんぼ作り(肥後守の使用) 食べ継いで欲しい昔の食卓 語り継いで欲しい行儀、作法、ことわざ、漢字 「温故知新」をテーマに 食文化の伝承教室(豆腐、味噌、うどん、そばなど) 漢字のおもしろ教室(漢字検定試験へむけて) 3種類の竹とんぼ教室(親子でチャレンジ、大会もあります！) 幅広い世代が楽しむコンサートの開催	H15~H17	3
11	バリアフリー塾	山根 忠	行政が進める福祉施策で、手の届かない部分のバリアを取り除くというテーマで 「楽しみ隊」の結成(記念コンサートの開催) 「役立ち隊」の研究 様々なバリアについての講演会	H15~H17	3
12	文化・福祉・人権サポートアエ ゾン塾 文化ネットワークはりま塾	木村 勝	「文化を通してまちづくり」をテーマに 障害者の乗船体験 ジャズコンサート 地域通貨の研究調査	H16~H17	2
13	エンジョイ二期倶楽部塾	神田 敬子	播磨町でも高齢化が進んでいますが、シルバーパワーで何が出来るかを大きな テーマに掲げ、「元気をだそう、ふれあいけんこうづくり」運動を呼び掛けます。囲碁 ボールなどの軽スポーツを通してまちづくりを考えました。 囲碁ボールなどの軽スポーツを通してまちづくり 慰問活動を通してまちづくり 不審者から子どもたちを守る「駆け込みセーフティステーション」活動	H17~H18	2

播磨ゆめづくり塾 一  
覧

	塾名	代表者	内容	活動期間	年数
14	「心」そだち場楽集隊塾	守田 連雲子	<p>温かい社会を目指して、夫婦間、親子間、家族間など人と人の中にある「愛」について考えました。</p> <p>身近で自分らしく伝えあえる愛についての「楽集(がくしゅう)会」</p> <p>あらゆる世代が子どもとともに育っていける「そだち場フォーラム」「そだち場サロン」「そだち場フェスティバル」の開催</p> <p>多世代交流事業の開催</p> <p>先進事例の研究調査</p> <p>小児科医など医療者の心を広く伝える事業</p> <p>子育て環境について、安心と自立の精神を啓発</p>	H18～H22	5
15	活力あるハリマ創り塾	黒田 吉人	<p>団塊の世代の活躍できる場として、温暖化防止に貢献できるバイオマスタウン地域構想を目指した取り組みを進めます。</p> <p>団塊の世代に退職後の活動参加を呼び掛けます。</p> <p>地域で環境問題の啓発を行います。</p> <p>私たちができるCO2削減に効果がある取り組みを検討します。</p> <p>環境に優しい地域(町)づくりを提案</p> <p>目的を同じくするグループと共同研究・活動</p> <p>住民啓発活動(夏まつりパネル展示、クラフト工作、夏休み子供エコ教室開催、緑のカーテン写真展開催)</p> <p>不耕作地を活用した取組み(不耕作地をコスモス畑に)</p> <p>温暖化対策指針づくりへの参画</p> <p>グリーンカーテン推進活動</p> <p>ごみの減量化についての取組み</p>	H19～H23	5
16	ふれあいエコアップ塾	藁科 文雄	<p>住民主導による社会教育事業を実施するとともに、男女協働参画社会の実現に向けて、父親の子育てのあり方について調査研究します。</p> <p>環境問題を焦点に世代間交流事業</p> <p>父親の子育て参加体験事業</p> <p>地域の伝統文化や昔遊びによる世代間交流事業</p> <p>団塊世代との連携事業</p> <p>次世代を担う子どもたちを中心に将来の播磨町の環境を考える事業</p>	H19～H23	5

播磨ゆめづくり塾 一  
覧

	塾名	代表者	内容	活動期間	年数
17	倭文化伝承げんき塾	長尾 禎則	童謡・唱歌、竹とんぼを題材に「和文化」の伝承に努めます。 竹とんぼ教室の開催 童謡・唱歌、竹とんぼを使った他市町との交流 他市町との交流の場での播磨町と平成19年10月に開館する兵庫県立考古博物館のPR	H19	1
18	心と体のセルフケア塾	川本 史子	自分のことを後回しにしストレスが溜まりがちなお母さんを対象に、ストレスとうまく付き合う方法を学びながらコミュニケーション能力の向上を図ります。 気功やアロマを取り入れたボディワーク学習 ワークショップによる体験型学習 子育て中の親へ親学習支援といやしの場提供 健康福祉フェア、大中遺跡まつり、播磨南高校主催「日本文化のつどい」参画講演会開催	H20～H21	2
19	子育て支援ネットワーク ういっくす播磨塾	米津 実千代	つながりながら、支え合いながら、人の温もりの中で子どもたちが育ち、その子どもたちもまた、次の世代へ温もりを伝えていくための取り組みを進めました。 子育て支援関係機関との連携 講演会の開催 子育てに関するよろず相談事業 父親の子育て参加の啓発活動	H23	1
20	みんなでつくろう。はりまの暮らし塾	佐伯 亮太	参加型ですすめるまちのコミュニティ拠点づくり 流入人口の多い播磨町において、新たな住人と昔からの住人がつながるきっかけとなるコミュニティ拠点をみんなで作る。さらに「日常の困った」を解決できるみんなの居場所になるような、コミュニティ拠点の運営方法を参加者とともに検討し、学びあう。	H29～R1	3

播磨ゆめづくり塾 一  
覧

	塾名	代表者	内容	活動期間	年数
21	ほけんしつプロジェクト塾	市川 佳代	<p>公的機関や病院などへ行くほどでもない、日常の些細な悩みや困りごとを気軽に相談できる「ほけんしつ」のような場所を播磨町内につくる取り組み。</p> <p>島根県隠岐島にある「島のほけんしつ蔵」をモデル事業とし、「ほけんしつ」を運営していく上で必要な、体や心のケアや知識の習得を行う。</p>	R2	1
	まちの居場所づくり塾「はりまある」		<p>R2は団体名を「はりまある」に改め、福祉会館を中心に町内の公共施設を活用しながら、引き続き赤ちゃんからお年寄りまですべての世代がいつでも立ち寄れるみんなの居場所づくりに取り組む。</p>	R3	2
22	マチで暮らそう。はりまで育ち塾	河村 史弥奈	<p>播磨町内で若い世代が集う居場所を作り、就職や進学をきっかけに町外へ転出するのではなく、そのまま町内で活躍し続けるようなまちづくりに挑戦する。</p> <p>人を集めるツールとして海外のボードゲームを使用し、公民館や公園にあつまり、ゲームをとおして参加者の思考力やコミュニケーション能力の養成も並行して取り組む。</p>	R2	1
23	播磨町の森のようちえんそとっこ塾	前田 由香	<p>「特別なことをしなくても、いっしょなら楽しい！ お外なら楽しい！」そんな時間をみんなでつくり、活動を通してお母さん同士のつながりづくりに取り組む。</p> <p>むしとおみずとおもとだち、おそととあそぼうはりまっこを略して「そとっこ」。こどもの目線で、こその都合で、こどもと並んで遊びたい！が、テーマの塾。</p>	R3	1